

金沢市における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(R6開始)

市の概況	(R6.1.1)
人口	444,996人
高齢化率	27.6%
被保険者数	68,793人
後期高齢者健診受診率	38.2%
日常生活圏域	20圏域

実施体制

【福祉政策課】 地域サロン(通いの場)、地域包括支援センターによる事業、老人福祉計画主管課
【健康政策課】 特定健康診査、介護予防事業、健康増進計画主管課
【介護保険課】 介護予防及び介護保険事業、介護保険計画主管課
【保険年金課】 データヘルス計画主管課
【福祉健康センター総務課】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
↳福祉健康センター 健康増進事業、特定保健指導、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
※広域と事業推進に係る協議の場等設置 R6.5.23意見交換会 R6.11.1一体的に係る研修会 R6年度内に協議の場開催予定

現状と課題(R5年度KDB等から)

○生活習慣病を保有している者のうち、高血圧の診断を受けている者が8割、糖尿病の診断を受けている者が5割である。
○生活習慣病が重症化して起こることが多い脳血管疾患、虚血性心疾患、心不全、腎不全の診断を受けている者のうち要介護認定を受けている者の割合は約半数である。
○骨折、認知症の診断を受けている者のうち要介護認定を受けている者の割合は、骨折は6割、認知症は8割である。また、骨折、認知症の方の生活習慣病の状況は高血圧、糖尿病の診断を受けている者が8割である。
○健診結果から肥満が24%、やせが8.3%と肥満の人の割合が高い。40歳から74歳までの国民健康保険加入者においてメタボ該当者、予備群の割合は国より高くHbA1c6.5%以上の割合も国より高いため、75歳未満の健康課題は、後期高齢者においても継続している。
⇒本市の後期高齢者においては、生活習慣病の重症化予防、介護予防を目的とした高血圧および糖尿病の対策が必要である。

企画・調整等

【企画調整】 福祉健康センター総務課保健師
(専従)

【庁内】
関係課と庁内連絡会の開催

【関係団体との連携】
・金沢市医師会
・金沢市歯科医師会
・金沢市薬剤師会
・石川県栄養士会
・石川県歯科衛生士会
・市地域包括支援センター
・市社会福祉協議会 等

ハイリスクアプローチ

20日常生活圏域(53地区)で実施
【糖尿病性腎症重症化予防】
○対象者：75～79歳の健診受診者（要介護者を除く）のうち、
HbA1c8.0%以上の未治療者
○方法：保健師による複数回の訪問等による保健指導
【その他の生活習慣病重症化予防】
○対象者：①75～79歳の健診受診者（要介護者を除く）のうち、
以下のいずれかに該当する者
・高血圧Ⅲ度以上の未治療者
・eGFR30未満または尿蛋白2+以上の未治療者
②ポピュレーションアプローチ（地域サロン）にてⅡ度高血圧
以上の者（未治療者および治療中の者も含む）
○方法：①糖尿病性腎症重症化予防と同様
②地域サロンにて保健師による個別保健指導

ポピュレーションアプローチ

【地域サロンでの健康講座】
○3日常生活圏域で実施（6地区）
まぎら（新神田、米丸）
かみあらや（西南部、押野）
ふくひさ（千坂、小坂）
※来年度以降順次拡大
○実施内容：1コース2回の保健師による
健康講座
私の健康すまいる講座
「すごいぞ血管～血管を守るためにできる
こと～」
1回目：血圧について
2回目：血管を守る食事と運動

事業別評価指標(予定)

○ハイリスクアプローチ

取組区分	対象者数	評価指標
糖尿病性腎症重症化予防	1 1	医療機関受診の割合 検査データの変化（HbA1c） 食生活習慣改善した者の割合 運動習慣改善した者の割合
その他の生活習慣病重症化予防	3 8	医療機関受診の割合 検査データの変化（血圧） 食生活習慣改善した者の割合 運動習慣改善した者の割合

○ポピュレーションアプローチ

取組区分	通いの場の数	対象者数	評価指標
健康教育・健康相談	6 か所	160名	血圧の変化 家庭血圧測定をしている人数の変化（増加） ハイリスク者に保健指導をした人数

ポピュレーションアプローチ(地域サロンでの健康講座)

テーマ：すごいぞ血管～血管を守るためにできること～

保健師による講話と
グループワーク
1コース2回

【1回目】

- ・ 血圧の調整をする血管のしくみ
- ・ 高血圧で影響を受ける臓器
- ・ 仮面高血圧について
- ・ 本当の血圧を知るための家庭血圧測定



【2回目】

- ・ 血管内皮細胞の働き
- ・ 血管を守るための食事と運動について



ポピュレーションアプローチの実施状況(中間)と次年度の計画

6 地区中 3 地区にて 1 コース 2 回の健康講座実施済み (R6.10.31現在)

参加者の実態

3地区 合計	参加 人数	高血圧の処方あり						高血圧の処方なし					
		人数(%)	(再)会場での血圧測定の結果			(再) 家庭での血圧測定 の有無		人数(%)	(再)会場での血圧測定の結果			(再) 家庭での血圧測定 の有無	
			正常血圧 人数(%)	I 度 高血圧以上 人数(%)	未測定 人数(%)	あり 人数(%)	なし 人数(%)		正常血圧 人数(%)	I 度 高血圧以上 人数(%)	未測定 人数(%)	あり 人数(%)	なし 人数(%)
1 回目	85	54 (64%)	31 (57%)	22 (41%)	1 (2%)	30 (56%)	24 (44%)	31 (36%)	15 (48%)	15 (48%)	1 (4%)	7 (23%)	24 (77%)
2 回目	72	46 (64%)	24 (52%)	22 (48%)	0 (0%)	37 (80%)	9 (20%)	26 (36%)	18 (69%)	8 (31%)	0 (0%)	16 (62%)	10 (38%)

※ 1 回目、 2 回目どちらも参加した人 (60人)

< 1 回目の参加者について >

- 参加者のうち、約 6 割が高血圧の治療をしていた。
- 高血圧の処方がある方のうち、 4 割の方が I 度高血圧以上であり、また家庭血圧測定をしていなかった方が 4 割であった。
- 高血圧の処方がない方では、 4 割の方が I 度高血圧以上であり、また家庭血圧測定をしていなかった方が 7 割であった。

< 講話 >

○住民が血圧について普段疑問に思っていることを健康講座の内容として取り入れ、血圧を調整する血管のしくみや高血圧がからだに及ぼす影響についてメカニズムを説明し、血管を守ることの大切さを一緒に学習した。あわせて、家庭血圧測定の必要性を伝え、高血圧の有無を確認するようすすめた。(記録用紙を配付)

ポピュレーションアプローチの実施状況(中間)と次年度の計画

家庭血圧測定実施人数の変化

【2回とも参加した方の状況】

2回とも 参加した人数	家庭血圧測定あり	
	1回目	2回目
60	27	46

1回目講座後、家庭血圧測定をするようになった方が増加した。

参加者の反応

- ・ 1回目に家庭血圧測定をしていなかった参加者の反応
「家庭血圧測定をしたところ、血圧が高いことに気づき、受診をして内服開始となった。」
「講座の内容を夫に話し、夫も一緒に家庭血圧測定をするようになった。」

次年度の計画

- ・ 今後は地区を拡大して、引き続き高血圧の健康講座を実施していくことで高血圧や血管を守ることについて知識の普及を図る。
- ・ 高齢者にかかる事業を担当する部署（地域包括支援センターなど）と実態を共有し、高齢者が血圧に関心を持ち、内服忘れ防止や食事・運動などの取組みに繋がるように連携をすすめたい。

主要計画一覧

	金沢市の上位計画	※健康増進事業実施者として立案する計画(健康保険法、国民健康保険法、共済組合法、労働安全衛生法、市町村(母子保健法・介護保険法)、学校保健法)			
	未来を拓く世界の共創文化都市・金沢 未来共創計画	金沢健康プラン2024 (健康日本21・健康増進計画)	第3期 保健事業実施計画		長寿安心プラン2024 金沢市老人福祉計画・介護保険事業計画
根拠法等	地方自治法 H23年改正 市町村基本構想の策定義務廃止 H26.11月制定のまち・ひと・しごと創生法第10条にて地方版総合戦略の策定が規定 第3次金沢版総合戦略で、基本構想と行動計画（未来共創計画）が位置付けられている	健康増進法 第8条、第9条 第6条 健康増進事業実施者※	特定保健指導等実施計画 (データヘルス計画と一体的に作成)	データヘルス計画	老人福祉計画:老人福祉法第20条の8 介護保険事業計画：介護保険法第116～118条 介保法第117条の6で一体に定めるよう規定
基本的な考え方	【金沢市都市像】未来を拓く世界の共創文化都市・金沢 【基本方針】 基本方針1）世界に誇る伝統と創造の文化が息づくまち ～魅力づくり～ 基本方針2）多様な人々が共生し、心豊かに暮らせるまち ～暮らしづくり～ 基本方針3）共に学び、未来を創る人を育むまち ～人づくり～ 基本方針4）創造・変革により成長するまち ～仕事づくり～ 基本方針5）活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ～都市づくり～	【基本理念】 健康寿命の延伸する健康都市・金沢 【スローガン】 はじめよう未病対策 広げよう健康の輪 【基本的な方針】 1）市民一人ひとりの行動と健康状態の改善 2）健康づくりに向けた社会環境の充実 3）次世代にもつながる生涯を通じた健康づくりの推進	特定健康診査の効率的かつ効果的に実施するための計画	被保険者の健康の保持増進を目的に、健康・医療情報を活用しPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図る。	【基本理念】 基本理念1）高齢者が尊厳を持って暮らせるまちづくり 基本理念2）住み慣れた地域で安全・安心に暮らしつつけられるまちづくり 基本理念3）みんなで高齢者の暮らしを支えるまちづくり
対象事象・課題	1）人口減少・少子高齢化の進展 国全体の動向に追随する形で推移。 2）新型コロナウイルス感染症による変化 働き方や住まい方の多様性が進み、多地区居住や地方移住への関心が高まった。電子商取引をはじめデジタルやオンラインの活用が進んでいる 3）持続可能な開発目標（SDGs）の達成 脱炭素社会への移行に向けた取組を進める必要性が高まっている 4）北陸新幹線延伸の好機と都市間競争の激化 交流人口の拡大に取り組む。金沢の拠点性を高める。 5）安全・安心な都市の構築 気候変動の影響による局地的な豪雨や頻発する地震などの自然災害への備え	【健康課題と解決に向けての視点】 1）健康寿命の延伸 2）市民一人ひとりの行動と健康状態の改善 3）健康づくりに向けた社会環境の充実 4）次世代にもつながる生涯を通じた健康づくりの推進	対象：40～74歳の国民健康保険加入者 ○メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群) ○肥満 ○糖尿病、糖尿病性腎症 ○高血圧 ○脂質異常症 ○虚血性心疾患、脳血管疾患	対象：国民健康保険加入者 ○メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群) ○肥満 ○糖尿病、糖尿病性腎症 ○高血圧 ○脂質異常症 ○虚血性心疾患、脳血管疾患	【施策目標】 1）多様な住まいの確保 2）適切な介護サービスを安定して受けられる体制の充実 3）在宅医療・介護連携による切れ目のない支援体制の充実 4）生活支援の充実とみんなで支え合う地域体制の強化 5）介護予防の推進 6）高齢者の社会参加の促進 7）認知症の方を支える体制の充実

関連事業

				事業名	担当課
保健事業				後期高齢者健康診査	健康政策課
				かなざわ健康ポイント	
				生活習慣病予防相談	福祉健康センター
				生活習慣病予防等の出前健康講座	
地域支援事業（介護保険）	介護予防事業	一般介護予防事業	介護予防普及啓発事業	転ばん元気な体づくり教室	スポーツ事業団（健康政策課）
				高齢者健康づくり体力増進教室	金沢健康福祉財団（健康政策課）
				なるほどなっとく！健康講習会	
				学ぼう！フレイル予防	
				フレイル予防栄養教室	
				そくさい地域出前講座（栄養・口腔・健康講座・体力測定・体操）	
				通所型サービス利用者むけ栄養改善出前講座（フレイルに関する講座をデイサービス等で実施）	
				健康スタジオ開放	
				フレイル予防出前講座	金沢・健康を守る市民の会（健康政策課）
				フレイルチェック	
				介護予防教室(20か所)（転倒予防・認知症予防・自立支援）	地域包括支援センター（福祉政策課）
			地域介護予防活動支援事業	運動普及推進員養成講座	金沢・健康を守る市民の会（健康政策課）
				フレイルサポーター養成	
				いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業	介護保険課
			介護予防把握事業	こころとからだのチェックリストの実施	健康政策課
			短期集中サービス事業	短期集中サービス（栄養・運動器・口腔）	健康政策課

			事業名	担当課
地域支援事業（介護保険）	包括的支援事業	地域包括支援センターの運営	総合相談支援	地域包括支援センター（福祉政策課）
		認知症初期集中支援推進事業	認知症専門医相談	
		認知症地域支援・ケア向上事業	認知症カフェ(オレンジカフェ)	
	任意事業	家族介護支援事業	オレンジパートナー育成講座	
		認知症サポーター等養成事業	認知症サポーター養成講座	